

第1部 調査の概要

第1部 調査の概要

1. 調査の目的

先進諸国においても少子化は共通する問題であり、その背景をなす要素としての自立・結婚・子育て観等について、我が国と諸外国の国民意識を調査し、比較分析を行い、我が国の特性を把握することが重要である。本調査は、平成17年度（2005年）に実施した前回調査から5年経過しており、改めて国民意識を調査し、各国比較、経年比較を行うことにより、今後の我が国の子ども・子育て施策の推進に資することを目的とする。

2. 調査事項

「結婚¹」、「出産」、「育児」、「社会的支援」、「生活」にかかる意識または実態に関する事項全46項目。調査項目数の内訳は、前回調査と同様の設問が33項目、新規の設問を13項目とした。

なお、前回調査と同様の設問であっても、現在の少子化社会対策の検討に適切な表現または選択肢となるよう、適宜、設問文あるいは選択肢等を見直し、修正を施しているものがある。

3. 調査対象国及び調査対象者

(1) 調査対象国

日本、韓国、アメリカ、フランス、スウェーデンの5カ国

(2) 調査対象者

20歳から49歳までの男女

4. 調査時期

平成22年（2010年）10月～12月

5. 調査方法

(1) 調査方法

各国とも1,000サンプル回収を原則とし、調査員による回答の選択肢を列記した「カード」を用いた個別面接調査を行った。

(2) 標本抽出方法等

- ① 各国における標本抽出方法、回収数、調査票での使用言語

¹ 本調査で「結婚」とは法律に基づく結婚をいう。（フランスの「PACS」またはスウェーデンの「サムボ」については法律に基づく形態ではあるが、本調査においては、結婚ではなく、同棲とみなす。）

	標本抽出法	回収数	使用言語
日本	層化二段無作為抽出法	1,248	日本語
韓国	割当法	1,005	韓国語
アメリカ	割当法	1,000	英語
フランス	割当法	1,002	フランス語
スウェーデン	割当法	1,001	スウェーデン語

② 標本抽出方法の概要

・ 層化無作為抽出

人口規模等に基づいて全国をいくつかの類似したブロックに分類（層化）し、各層ごとに配分された調査地点を無作為に抽出する。（日本の場合は、調査地点の抽出、サンプルの抽出と二段階で抽出している。）

・ 割当法

基本的には層化無作為抽出と同じであるが、サンプル抽出の際、教育水準や世帯主の職業等を考慮して、各層の割当数を定める。

(3) 調査実施機関

本調査の実査及び集計は、次の調査機関が実施した。日本以外の4カ国については、株式会社日本リサーチセンターが窓口として取りまとめを行った。

全調査対象国のデータの総括は東京海上日動リスクコンサルティング株式会社が実施した。

	調査機関
日本	株式会社日本リサーチセンター
韓国	Gallup Korea Poll Ltd.
アメリカ	Kane, Parsons & Associates, Inc.
フランス	IPSOS
スウェーデン	International Marketing Research Institute

(4) 少子化社会に関する国際意識調査企画委員会委員

本調査の企画及び分析に当たっては、企画委員会を組織し、次の各氏の協力を得た。

委員長

松田 茂樹 第一生命経済研究所 ライフデザイン研究本部 主任研究員

委員

小島 克久 国立社会保障人口問題研究所 国際関係部室長

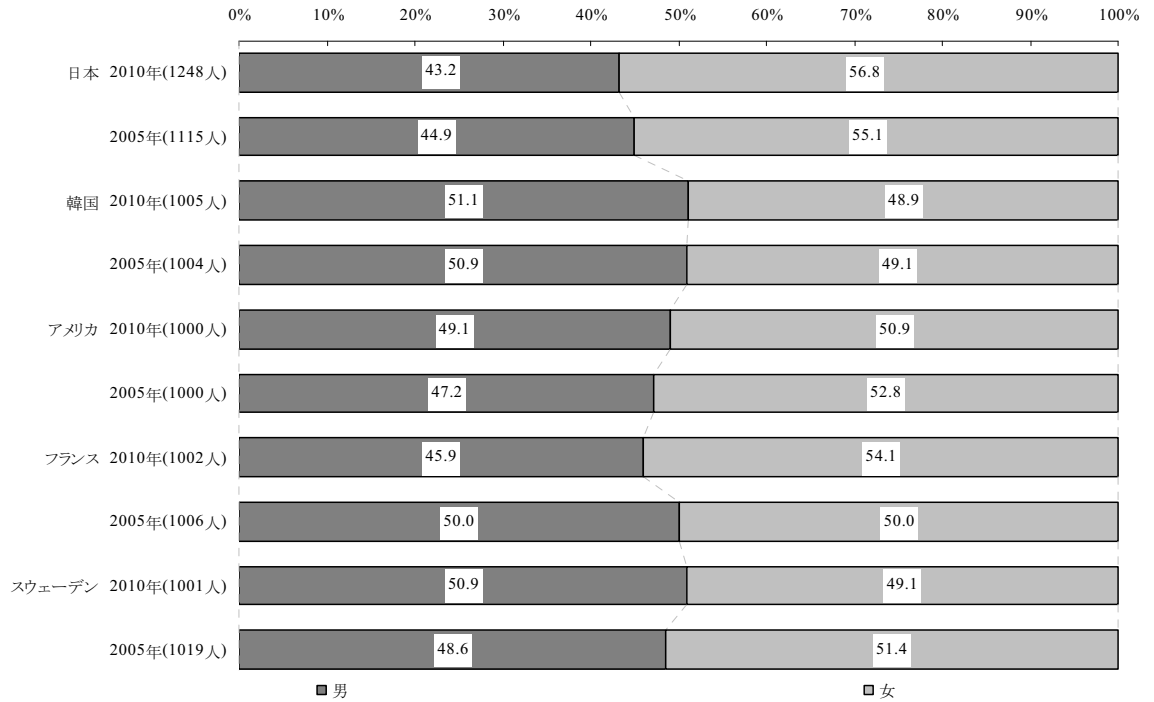
高橋 美恵子 大阪大学世界言語研究センター 准教授

西村 智 関西学院大学経済学部 准教授
 吉田 千鶴 関東学院大学経済学部 准教授

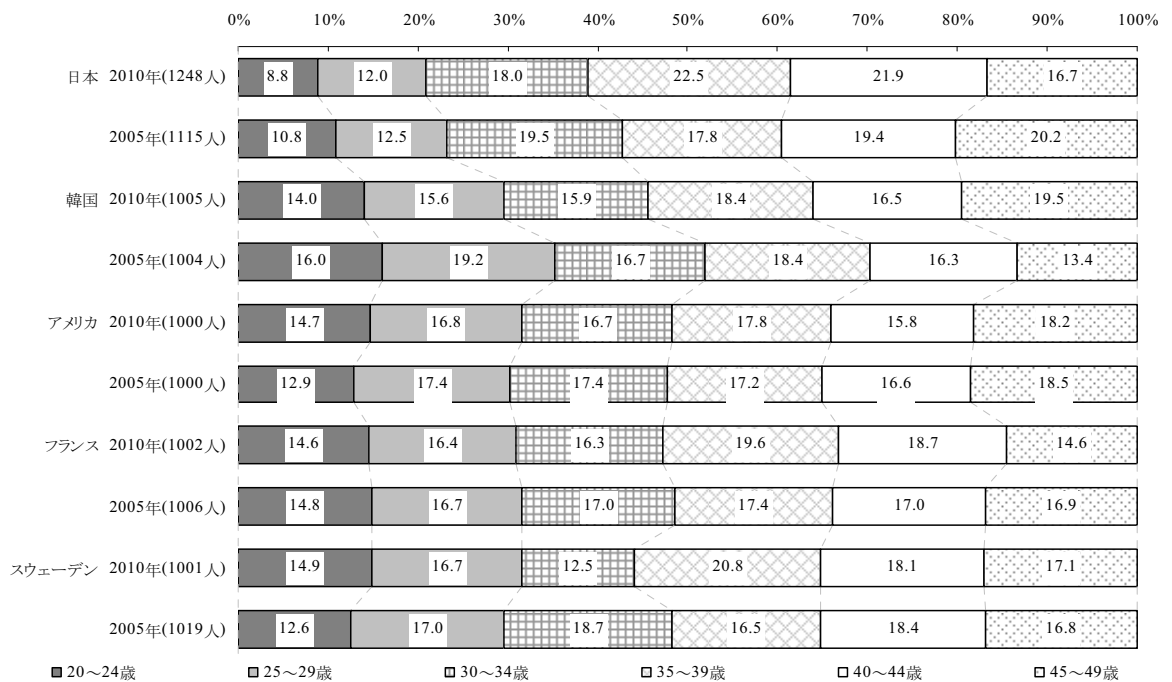
(50音順・敬称略)

6. 標本構成

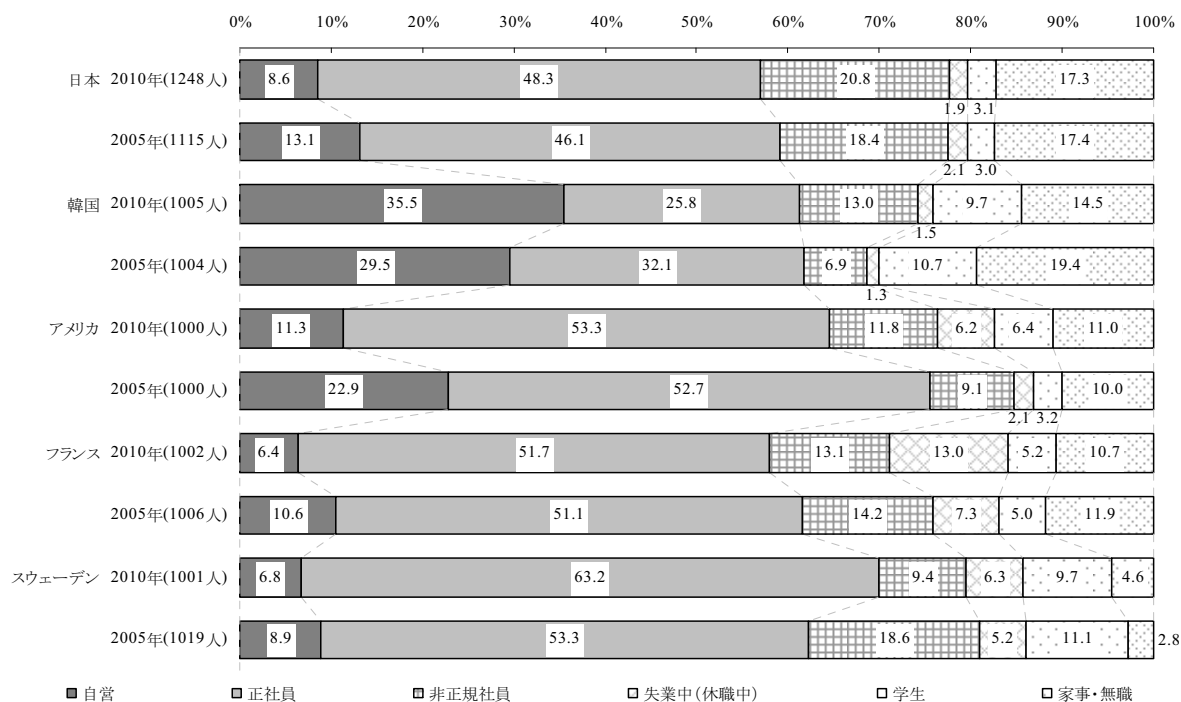
(1) 性別



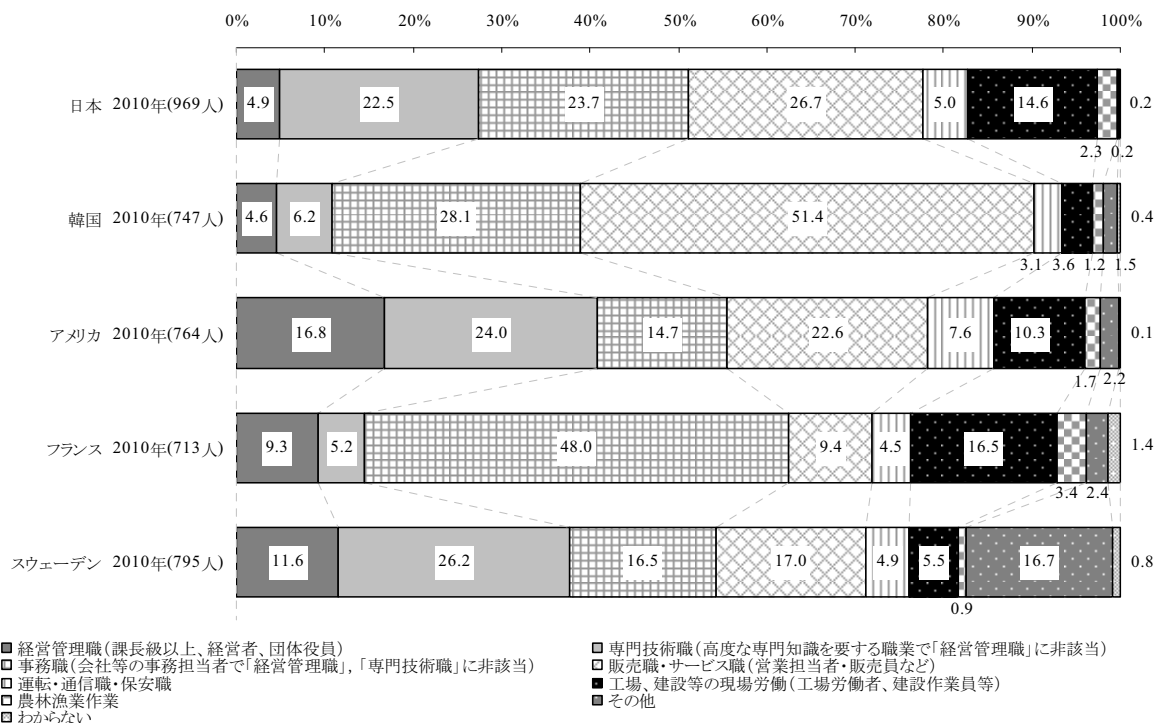
(2) 年齢



(3) 本人の雇用形態

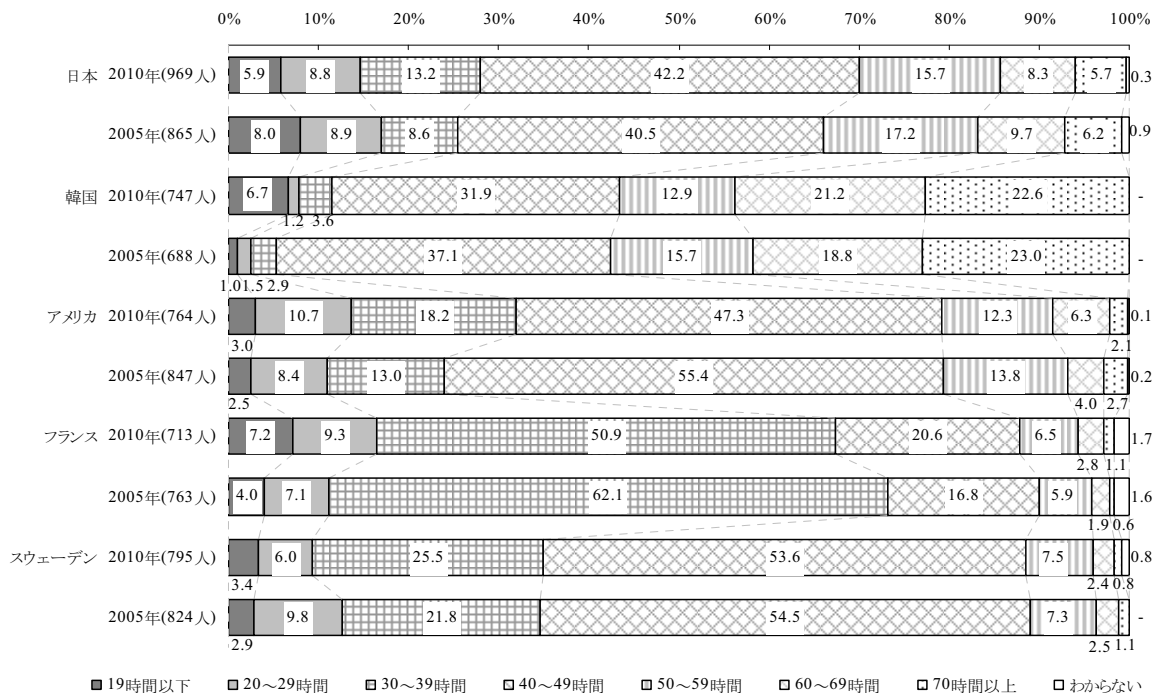


(4) 本人の職種

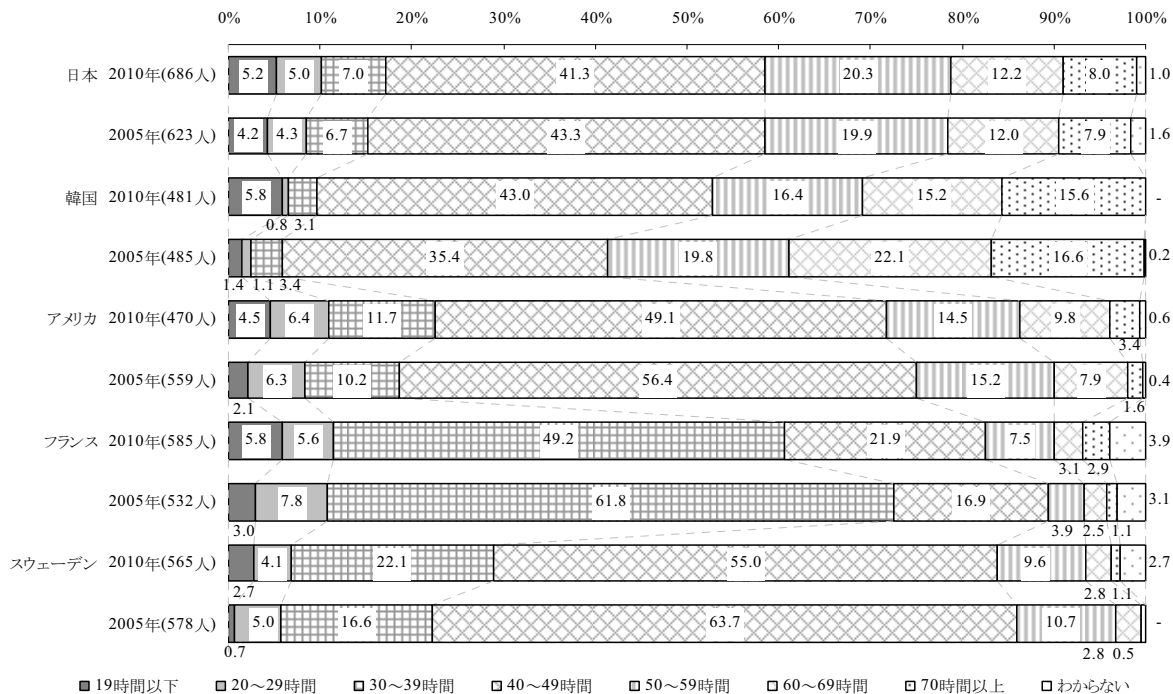


注：前回調査では職種を尋ねていない。

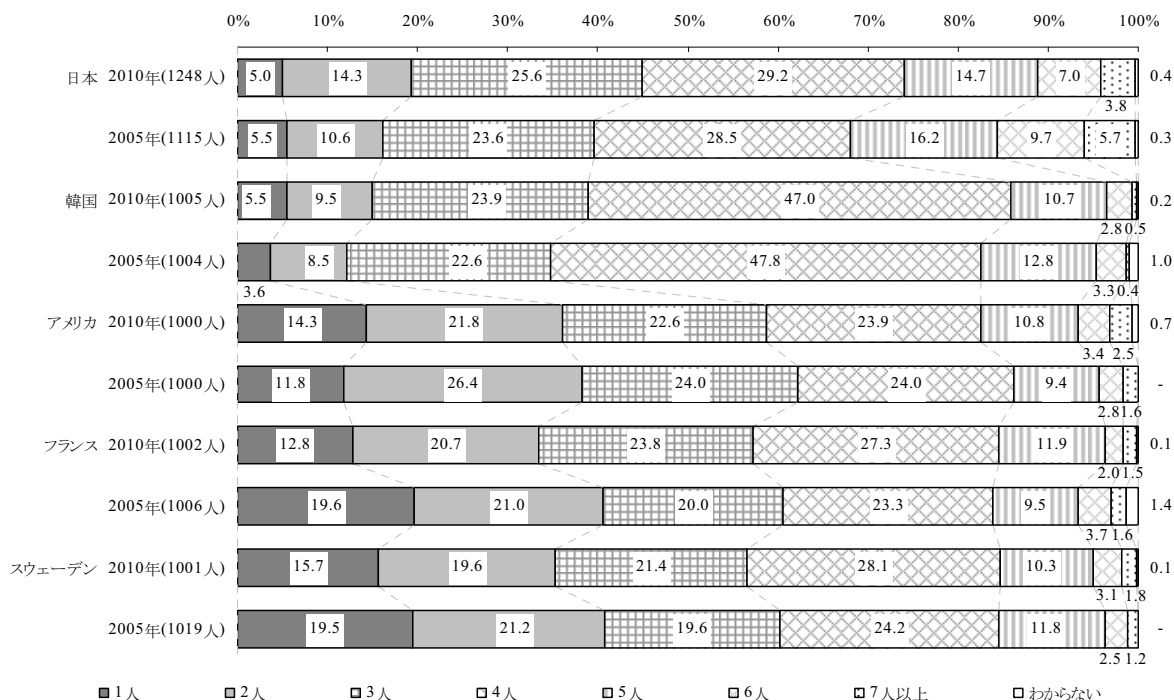
(5) 本人の労働時間



(6) 配偶者（同棲相手を含む）の労働時間



(7) 世帯人数



7. 本報告書を読む際の留意点

- (1) 今回の調査では、各国の調査票間の整合性を確保するために、調査票を日本語から英語に訳し各国語に翻訳する方法を取った。
- (2) 結果数値 (%) は表章単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないこともある。

- (3) 本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次のとおりである。

N : 質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である

0.0 : 表章単位に満たないが、回答者がいるもの

— : 回答者がいないもの

[カード] : 回答の選択肢を列記した「カード」を示して、その中から回答を選ばせる質問

- (4) 前回調査ではフランスと韓国についてセンサスに基づいたウェイト変数によって調整を行っており、本報告書に掲載している前回調査の結果は前回の報告書と同様の数字である。今回調査では、各国ともウェイト変数による調整は行っていない。